

図説脳神経外科

(第100回)

図説脳神経外科100回に寄せて

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学 有田 和徳



今号で鹿児島県医師会報「図説脳神経外科」が100号になります。

まず、日頃、鹿児島県における脳神経外科の診療に御協力、御支援をいただいている鹿児島県医師会会員諸氏に御礼を申し上げます。

私が脳外科医になった30数年前は脳神経外科の守備範囲は頭部外傷、脳腫瘍、脳卒中など、ほぼ生命に直結する疾患のみでしたが、その後大きく変化し、診療の対象としてパーキンソン病、てんかん、痛み、けいれん、認知症などが加わり、治療内容も発症後対応型から発症予防型へ、治療手技も血管内手術、覚醒下手術、ガンマナイフ、サイバーナイフの導入と大きく変容してきています。加えて、手術支援機器も進歩し、現在は術中ナビゲーション、術中MRI(CT)はごく当り前の時代になっています。

私は2005年に故郷の鹿児島に戻り、鹿児島大学に着任しましたが、このように急速に発展、変化しつつある脳神経外科の現状を鹿児島県医師会報を通じて、いち早く鹿児島県医師会の先生方に御紹介し、日常診療のお役に立てることが出来ないかと考えておりました。このことを

前鹿児島県医師会長の米盛學先生に御相談したところ、御快諾をいただき、2006年6月から「図説脳神経外科」という形でスタートさせていただくことが出来ました。その後、池田琢哉現会長にも継続をお許しいただいております。

この「図説脳神経外科」は、忙しい県医師会の先生方が、脳外科の代表疾患や治療法を一瞥で御理解いただけるよう、1. 導入(はじめに)、2. 症例、3. まとめからなる1,000字前後の本文と解りやすい図や写真で構成し、見開き2ページで収まるようにしています。

「図説脳神経外科」第一号は「三叉神経痛」でした。これまで、脳腫瘍から脳卒中、機能性神経疾患にいたるまで、幅広い領域について御紹介が出来たものと思います。医師会の先生方からは、「図説脳外科読んでいるよ」とか、「自分の患者に当てはまるかも」とか、「患者の紹介方法は」など積極的な反応をいただいております。

一方、忘れてはならないのは、「図説脳神経外科」の取り組みを通して、若い人達の書く力を高めることが出来た事です。最近、日本語の医学論文に対する

評価が低くなり、それに伴って、最初から英語の論文にチャレンジする若い人達も増えて来ています。それ自身は悪いことではないですが、英語を母国語としない若い医師が最初から英語で理論構成をするのは相当の無理があります。「図説脳神経外科」の執筆を通して、疾患を体系的に把握し、簡潔な日本語で記述する術を習得したことは、今後英文論文を執筆するに当たっても大きな力になると思います。

— おかげさまで、「図説脳神経外科」は100号に至りましたが、脳外科がカバーしている疾患はさらに多岐にわたっており、一方で8年前に記載した内容がやや古くさくなって来るほど変化も激しい分野であります。出来ましたら、引き続い

て我が儘をお許しいただき「図説脳神経外科」を継続させていただくと共に、医師会の皆様の御愛読を御願ひ致します。最後に出版にあたり、変わらぬ御支援を賜りました会報編集委員会の先生方、医師会事務局の方々に心から感謝申し上げます。

— 以下は、1号から99号までのタイトルと筆頭著者の一覧です。

— なお、「図説脳神経外科」の全ての記事は鹿児島大学脳神経外科のホームページ上 (<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ns/>) の「脳外科の病気」から閲覧、ダウンロードが可能です。御利用ください。

年	月	回	題	著者
2006	6月	1	三叉神経痛	大吉 達樹
	7月	2	髄膜腫	平野 宏文
	8月	3	顔面けいれん	八代 一孝
	9月	4	先端巨大症	湯之上 俊二
	10月	5	松果体腫瘍の手術	川野 弘人
	11月	6	眼窩内腫瘍の手術	永山 哲也
	12月	7	後頭葉てんかんの一例	今村 真一
2007	1月	8	頭蓋骨縫合早期癒合症	大吉 達樹
	2月	9	脊髄硬膜動静脈瘻(dural AVF)の外科治療	内田 裕之
	3月	10	聴神経腫瘍(前庭神経鞘腫)	西牟田 洋介
	4月	11	下垂体部腫瘍に対する眼窩上鍵穴手術	土屋 政寛
	5月	12	頸動脈狭窄症に対するステント治療	永山 哲也
	6月	13	脳動脈瘤に対するコイル塞栓術	西牟田 洋介
	7月	14	膠芽腫とメチオニンPET	平野 宏文
	8月	15	大孔部髄膜腫の手術	菅田 真生
	9月	16	延髄-頸髄移行部の血管芽腫	土屋 政寛
	10月	17	側頭葉てんかんに対する手術療法	八代 一孝
	11月	18	第4脳室内脈絡叢乳頭腫	藤尾 信吾

	12月	19	鞍結節髄膜腫	花田 朋子
2008	1月	20	開瞼の困難を呈した片側顔面痙攣の一例	久保 文克
	2月	21	小脳上部に発生した海綿状血管腫	新里 能成
	3月	22	特発性正常圧水頭症	米澤 大
	4月	23	年長者の側頭葉てんかんに対する手術	川野 弘人
	5月	24	症候性脳底動脈先端部脳動脈瘤に対するコイル塞栓術	永山 哲也
	6月	25	プロラクチン産生下垂体腺腫(プロラクチノーマ)の手術	湯之上 俊二
	7月	26	舌咽神経痛	内田 裕之
	8月	27	急性期虚血性脳血管障害に対するrt-PA(アルテプラゼ)静注療法	米澤 大
	9月	28	神経内視鏡による脳内血腫吸引術	大吉 達樹
	10月	29	腰仙部脊髄脂肪腫	西牟田 洋介
	11月	30	脳幹の海綿状血管腫	カンボス・フランシア
	12月	31	頸部内頸動脈狭窄症による慢性眼虚血症状に対する頸動脈ステント留置術	菅田 真生
2009	1月	32	難治性てんかんに対する脳梁離断術	花谷 亮典
	2月	33	後頭経天幕接近法による大脳鎌小脳天幕移行部髄膜腫に対する摘出術	西牟田 洋介
	3月	34	海綿静脈洞部軟骨肉腫の手術	西牟田 洋介
	4月	35	悪性涙腺腫瘍に対する手術	花谷 亮典
	5月	36	覚醒下脳腫瘍摘出術	花谷 亮典
	6月	37	再発三叉神経痛に対する手術療法	花谷 亮典
	7月	38	発作性発語(Ictal Speech)を呈した側頭葉てんかん患者の一例 -発作起始の側方性推測に於ける重要性-	菅田 真生
	8月	39	Parkinson病における脳深部刺激療法	羽生 未佳
	9月	40	脳動脈瘤に対する小開頭クリッピング術	時村 洋
	10月	41	放射線療法後にRadiation induced sarcomaを発症した1例	田中 俊一
	11月	42	片側顔面痙攣で発症した頭蓋内限局 内胚葉嚢胞endodermal cystの一例	米澤 大
	12月	43	胸椎椎体圧迫骨折後に生じた脊髄硬膜動静瘻の一例	菅田 真生
2010	1月	44	頭蓋骨早期癒合症	藤尾 信吾
	2月	45	先端巨大症 -最近の治療成績-	藤尾 信吾
	3月	46	脳動脈瘤手術における術中蛍光血管撮影の有用性	菅田 真生
	4月	47	大脳後部皮質てんかんに対する外科治療	花谷 亮典
	5月	48	MRI手術室	八代 一孝
	6月	49	内側側頭葉てんかんに対する選択的扁桃体海馬切除術	花谷 亮典
	7月	50	成人成長ホルモン補充療法の有用性について	湯之上 俊二
	8月	51	Germinoma(胚腫)の一例	米澤 大
	9月	52	もやもや病の診断と治療 -小児例-	平原 正志
	10月	53	水頭症を合併した脊髄神経鞘腫の1例	森正 如
	11月	54	整容に配慮した脳神経外科手術の試み	山畑 仁志
	12月	55	水頭症治療に対する内視鏡下第3脳室開放術	大吉 達樹
2011	1月	56	手術による先端巨大症患者における耐糖能障害の改善	藤尾 信吾
	2月	57	Spinal dural AVFによるSAH	森 正如
	3月	58	高齢者三叉神経痛	菅田 真生
	4月	59	てんかん外科における術中MRIの有用性	細山 浩史
	5月	60	経蝶形骨洞手術における術中MRIの利用	藤尾 信吾
	6月	61	3.0T-MRIで病巣が可視化できた局限性皮質形成異常の1例	久保 文克

	7月	62	難治性痙縮に対するバクロフェン髄注療法(ITB療法)	羽生 美佳
	8月	63	頭蓋内穿通外傷	米澤 大
	9月	64	転倒発作に対する脳梁離断術	菅田 真生
	10月	65	聴力障害で発症した脳幹梗塞の一例	町田 明理
	11月	66	鞍結節部髄膜腫に対する経蝶形骨洞腫瘍摘出術	東拓 一郎
	12月	67	中枢性神経細胞腫(central neurocytoma)の一例	比嘉那 優大
2012	1月	68	手術によって妊娠が達成された月経障害を呈するプロラクチノーマ症例	藤尾 信吾
	2月	69	難治性てんかんに対する迷走神経刺激療法	東 拓一郎
	3月	70	齲歯を原因とした多発性脳膿瘍	比嘉那 優大
	4月	71	中枢神経系原発悪性リンパ腫と鑑別疾患群	花田 朋子
	5月	72	てんかんに対する長時間ビデオ脳波モニタリング	細山 浩史
	6月	73	脊髄髄膜瘤	田中 俊一
	7月	74	若年女性プロラクチノーマ患者に対する手術療法の効果	藤尾 信吾
	8月	75	眼窩内異物	檜田 祐美
	9月	76	再発鞍結節部髄膜腫	笠毛 友揮
	10月	77	中脳海綿状血管腫	米永 理法
	11月	78	再発片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術	菅田 淳
	12月	79	言語野領域の腫瘍摘出におけるMRI拡散テンソル画像トラクトグラフィの有用性	ユース・バクティアル
2013	1月	80	症候性頸部内頸動脈狭窄症に対する頸動脈内膜剥離術	河井 浩志
	2月	81	悪性髄膜腫	檜田 祐美
	3月	82	急性期脳梗塞に対する機械的血栓回収療法	米永 理法
	4月	83	頭蓋骨芽細胞腫	田中 俊一
	5月	84	原発性甲状腺機能低下症による下垂体過形成	東 拓一郎
	6月	85	成人もやもや病	粟 隆志
	7月	86	一側冠状縫合早期癒合症(前頭斜頭蓋)	大吉 達樹
	8月	87	三叉神経痛に対する神経血管減圧術の長期予後	田中 俊一
	9月	88	視床下部過誤腫	笠毛 友揮
	10月	89	顔面けいれんに対する神経血管減圧術の長期予後	田中 俊一
	11月	90	頸椎歯突起後方偽腫瘍の治療	山畑 仁志
	12月	91	大型血栓化脳動脈瘤に対する瘤内塞栓術	岡田 朋久
2014	1月	92	椎骨動脈圧迫による三叉神経痛	山畑 仁志
	2月	93	パーキンソン病に対する視床下核刺激術	羽生 未佳
	3月	94	線維性骨異形成症	貞村 祐子
	4月	95	脳硬膜下膿瘍	比嘉那 優大
	5月	96	結節性硬化症に伴うてんかん	細山 浩史
	6月	97	超急性期脳梗塞に対する治療 —「守り」から「攻め」へ—	西牟田 洋介
	7月	98	急性期脳梗塞に対する血行再建:	西牟田 洋介
	8月	99	巨大下垂体腺腫に対する開頭・経蝶形骨洞複合手術	羽生 未佳
	9月	100	100回記念「図説脳神経外科100回に寄せて」	有田 和徳